

健康な未来を作るぞ!プロジェクト ～奇跡のIT活用～

若 槻 徹^{*1}

一日中つながりっぱなしのTV会議システムを通じ、岡山の農業高校の牛舎の死ぬか生きるかの子牛の出産を島根の小学生が見守った。そのことで命の大切さを実感した5年生は、命や食をテーマに「健康ハンドブック」を作るプロジェクト学習を展開した。小学生と農業高校生が継続した交流や共同授業を行い、子どもたちは意欲的に取り組んだ。そして、完成したハンドブックを手に修学旅行で高校を訪問し、高校生や牛たちとの直接交流も実現した!

<キーワード> プロジェクト学習、TV会議、共同学習、総合的な学習の時間
ポートフォリオ評価

1. 研究のねらい

島根県加茂町立加茂小学校は、「総合的な学習の時間」の文科省研究開発校(H.11-13)、「学校インターネット」の指定を受け、研究実践に取り組んでいる。

学年 5年生61名

期間 平成14年5月～平成15年4月

指導体制 学年担任2名+専科教員2名

パートナー 岡山県立高松農業高校

社会的効果

「健康ハンドブック」を保護者、町の福祉関係者へ配布。HP公開。新聞社で紹介。本研究実践のねらいは、次の通りである。

「健康」についてプロジェクト学習に取り組む、実践を通して子どもが成長する「総合学習」のあり方について明らかにする。特に、TV会議等を使った農業高校生との共同学習も取り入れ、効果的なITの活用のあり方についても研究していく。

2. 研究のポイント・成果

(1)ポートフォリオの活用

パーソナルポートフォリオやプロジェクト学習のポートフォリオを活用し、未来教育プロジェクト学習の基本フェーズで取り組み、見通しを持ち、身に付く力を明らかにして取り組んだ。自分の成長に気づく学習ができた。

(2)TV会議はつながりっぱなしで日常感覚

農業高校の牛舎と小学校のフリースペースを日常的にTV会議でつながりっぱなしにして、小学校からは常時牛の姿が見え、自由に交流ができるようにした。放課後には互いに自由に会話をするなど日常的な交流ができた。

(3)先生は画面の中の農業高校生

「総合的な学習の時間」で、TV会議を使い農業高校生と小学生の共同授業を数回実施した。農場からの生中継で、命や健康の大切さについて高校生に教えてもらう学習を継続的に行った。特に、野菜の新鮮な見分け方や無農薬栽培、添加物のないパン作りなど農場からのTV会議(生中継)では、小学生は、強い関心を持ち、その後の意欲的な活動につながっていった。高校生にとっても小学生に教えるという活動を通して、自分の専門性に自信を持ったり、工夫して堂々と発表する力をつけるなど成長していった。

(4)IT+直接交流!

TV会議だけでなく、インターネットの掲示板を活用し、高校生がイラストの絵を描いたりしてくれ、交流が続いた。掲示板への書き込みによって子どもたちのパソコンのスキルがアップした。

また、ITによる交流だけでなく、プレゼン交換や直接の交流も実現するなど心がつながる夢の交流が実現した!

*1 加茂町立加茂小学校 (waka@bs.kkm.ne.jp)

4. 実際の活動

(1) ITの活用

つなぎっぱなしのTV会議



<牛舎のTV会議システム(岡山高農)>

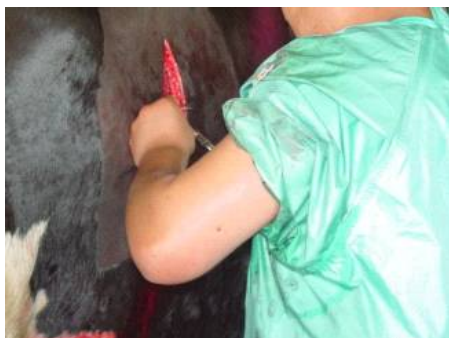
毎日朝から夕方までTV会議システムを使い、牛舎の様子が加茂小に映し続けられた。いつでも高校生と話ができる“窓”が多目的スペースにでき、日常的な交流ができた。

出産～手術～成長 “奇跡のドラマ”



<仔牛の出産(逆子)>

出産の様子を見守り、仮死状態で産まれた仔牛への介護をTV会議で小学生は見守った。



<手術決行！>

そして、母牛が病気になり、処分が検討されたが、小学生の応援(メール、掲示板等)手術が行われた。その様子もTV会議で映され、島根に伝えられた。

共同授業

<名前の提案>



手術が成功し、成長した仔牛の名前を小学生が提案する授業では、高校生から別の牛の死が伝えられ、命の大切さを学ぶこともできた。



<高校の農場から生中継>

「命の大切さを学ぶ授業」や「健康の大切さを考える授業」も行い、高校生から学ぶことで意欲を持続できた。

直接の交流実現！



<修学旅行で訪問>

7月の高校生の訪問、そして翌4月には修学旅行で小学生が高校を訪問するなど、直接の交流が実現した。ITを活用して高校生との交流・共同授業を取り入れ、数々の奇跡のドラマが生まれた。子どもたちは、意欲的に取り組み、成長することができた。

(2)プロジェクト学習の実際

パーソナルポートフォリオ

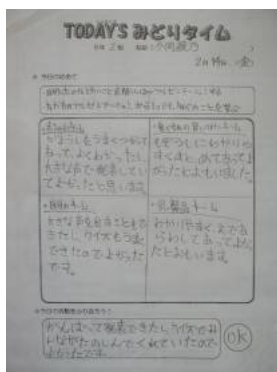
牛の成長をTV会議で見守るとともに、家族や命の誕生について関心を持つことから活動を始めた。パーソナルポートフォリオを作成し、自分自身の成長を振り返った。



< パーソナルポートフォリオ >

プロジェクト学習のポートフォリオ

各時間ごとに活動カードを活用して、活動の記録を蓄積したり、振り返りを行っていた。学習のめあてを書いたり、各フェーズでの大切なことを考えたりした。何のために活動するかを自覚して、主体的な学習を進めるために、有効であった。



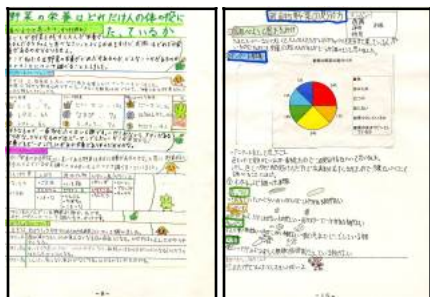
< 活動カード >

テーマとゴール

テーマ: みんなの未来を大切にしたい未来にしよう。

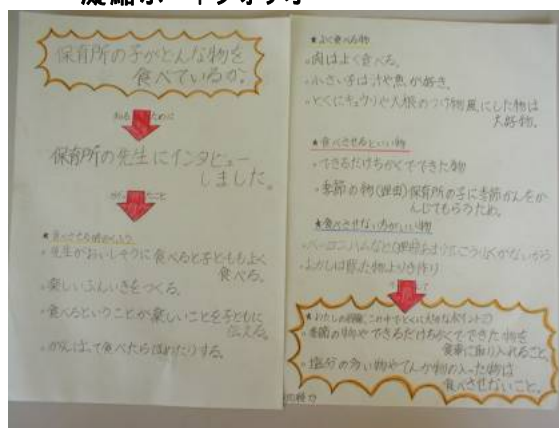
ゴール: 命や健康を大切にするためのハンドブックを作る。

食べ物や環境との関連を考え、健康という共通テーマのもとに、子どもたちがそれぞれ多様なテーマに取り組み、根拠を持って具体的な結論を出し、社会に提案する活動を行った。



< 完成したハンドブック >

凝縮ポートフォリオ



< 凝縮ポートフォリオ >

チームでの活動の後、個人で再構築の学習を行った。論理的に考えを組み立てる学習で、考える力を身につけることができた。ハンドブック作成時にグループでじっくり時間をかけて取り組んだので、この場面は比較的スムーズに作成することができた。

成長エントリー



< カードの交換 >

最後にポートフォリオを見返して、自分の成長したことを見つける学習を行った。友だちの成長したところも見つけ、お互いにコメントのカードを交換し、成長を認め合うことで、子どもたちは自分に自身を持つことができた。

5.まとめ

ポートフォリオを活用してプロジェクト学習に取り組み、子どもたちは、命や健康の大切さに気づくことができた。特にじっくり考える力を身につけることができたのは、思考の場面を多く取り入れた成果であった。また、ITを活用して高校生と継続した交流や共同学習を行ったことで、子どもたちが意欲を持続させて意欲的に取り組み、自分たちの成果に自信を持つことができた。